

補助金等調査表（チェックシート）

所属 健康こども部こども課

(1) 補助金の内容

名 称	子育て応援メッセ実行委員会補助金		
交 付 開 始 年 度	平成19年度	終了予定年度	
交 付 先	子育て応援メッセ実行委員会		
交付の目的・必要性	地域における子育て力の向上や子育て世帯の支援を図るため、子育て応援メッセ実行委員会が実施する子育て応援メッセの運営に要する費用を補助する。		
対象事業の内容	子育て支援関係団体がそれぞれの立場から子育てを応援する企画等を実施し、子育て世帯の不安や負担を軽減するためのイベントを実施する。		
形 態	<input checked="" type="checkbox"/> 事業補助 <input type="checkbox"/> 運営補助 <input type="checkbox"/> 混合補助 ⇒ 割合が大きいのは <input type="checkbox"/> 事業補助 <input type="checkbox"/> 運営補助		
直近の見直し状況	見直した時期		
	内 容		
交付申請	受領書類	<input checked="" type="checkbox"/> 事業計画書 <input checked="" type="checkbox"/> 収支予算書 <input type="checkbox"/> その他（ ） 	
	確認内容	事業計画書、収支予算書により、補助事業等の目的及び内容が適正であるかを審査している。	
実績報告	受領書類	<input checked="" type="checkbox"/> 事業報告書 <input checked="" type="checkbox"/> 収支決算書 <input checked="" type="checkbox"/> その他（領収書）	
	確認内容	実績報告書、収支決算書により、補助金交付決定の内容及びこれに付した条件に適合するか調査している。	

(2) 補助金見直しの基本視点に基づく評価

(※具体的な根拠指標には、設問に対する評価根拠となる、成果等を示す数値的な指標を記載すること)

	評価	評価の理由・具体的な根拠指標
公益性	広く社会に利益をもたらす	市内で子育てをしている子育て家庭への子育て支援として還元されている。
	評価 ほとんど合っている	評価の理由・具体的な根拠指標 子育て家庭に対し、育児不安を解消できるようなきっかけを提供している。
必要性	評価 ある	「ある」→妥当性について記入。 「ない」→妥当性がないにも関わらず補助する理由を記入。 市内子育て関係団体等複数の団体が、それぞれの立場から子育てを応援する企画を実施するイベントであり、育児不安・負担の軽減に繋がる機会であるため、市が関与する妥当性はある。
	評価 できない	「できる」→自主財源で事業実施可能にも関わらず補助する理由を記入。 「できない」→補助金がなければ事業を実施できない理由・具体的な根拠を記入。 運営には多額の費用がかかり、自主財源で実施するのは難しい。
必要性	評価 高い	評価の理由・具体的な根拠指標 令和元年度に実施した来場者アンケート（回答：250）において、86%の方が満足と回答している。
	評価 即している	評価の理由・具体的な根拠指標 令和元年度に実施した来場者アンケート（回答：250）において、86%の方が満足と回答している。
必要性	評価 できる	「できる」→誰に対しどのような効果があるか等について記入。 「できない」→説明できない理由について記入。 子育て家庭の育児不安・負担の軽減に寄与している。
	評価 未設定	「設定済」→設定年度とその根拠を記入。 「未設定」→設定しない理由と今後の見通しを記入。 イベントの性質と実施状況から期限は設けていないが、事務局経費等の見直しは図っていく。
必要性	評価 はい	「はい」→積算根拠を何で確認しているかを記入。 「いいえ」→積算根拠が不明確である理由と今後の見通しを記入。 子育て応援メッセ実行委員会補助金交付要綱において確認している。

施策との整合性	当該補助金は、市の政策目的や施策と整合している。	評価	「している」→どのような点で整合しているのか記入。 「していない」→整合してないにも関わらず補助する理由を記入。
		している	第2期浦安市子ども・子育て支援総合計画に策定している。
公平性	補助事業が本市の特性を生かした取り組みである。	評価	「はい」→どのような点で特性を生かしているのか記入。
		いいえ	
効率性	事業を実施できる団体が他にない。（複数存在する場合、当該補助金がその事業者にだけ交付される合理的な理由がある。）	評価	「はい」を選んだ理由 子育て応援メッセージを実施するのは当該事業者（実行委員会）しかいない。
		はい	「いいえ」の場合、補助金がその事業者にだけ交付される合理的な理由を記入。
補助対象経費の明確化	補助対象経費に対して、補助事業者等にも応分の負担を求めるべき事業には、一定の適切な補助率や限度額が設定されている。	評価	「設定済」→補助率とその根拠を記入。 「未設定」→設定しない理由と今後の見通しを記入。
		未設定	かかる経費の一部補助として上限額を設けている。
効率性	補助目的に見合った成果や、施策実現に向けた効果がある。	評価	効果の測定方法・具体的な根拠指標 来場者に対しアンケートを実施している。
		十分効果をあげている	評価理由 令和元年度に実施した来場者アンケート（回答：250）において、86%の方が満足と回答している。
効率性	手法として、委託等の手法よりも、補助金を交付することがより合理的である。	評価	評価の理由・具体的な根拠指標
		はい	イベントの支援により地域の子育て支援の活性化につながるため。
補助対象経費の明確化	国や県、本市において同様の補助事業がない。（※国県要綱に対し、上乗せ・横出しそして補助事業は除く）	評価	「ある」の場合、同様な補助事業と両方存続させる理由を記入。
		ない	
補助対象経費の明確化	補助金対象内外経費が明らかになっているか。	評価	「はい」→何で確認をしているか記入。 「いいえ」→明確にしていない理由を記入。
		はい	収支決算書において確認している。
補助対象経費の明確化	補助対象外経費を補助対象としていない。（対象としている場合は、明確な根拠を持っている。）	評価	「対象としている」の場合、費目及びその根拠規定と対象となる考え方を記入。（※費目とは、飲食費や慶弔費など）
		対象としていない	

※以下の項目は、団体補助金のみ記述。

		評価	評価の理由
団体補助金	団体の設置および活動目的が、補助事業からみて整合しているか。また、団体としての活動実態があるか。	評価 はい	実績報告書等から確認できる。
	補助事業の内容と成果について、交付団体においても対外的に情報公開を実施しているか。	評価 はい	「はい」→情報公開の手法等について具体的に記入。 「いいえ」→実施できない理由と今後の見通しを記入。 実行委員会会議にて報告している。
	団体内で、補助金の使途や決算などの監査機能が有効に機能していて、透明性等をもって運営されているか。	評価 はい	「はい」→どのような監査手法で実施しているか記入。 「いいえ」→機能していない理由と今後の見通しを記入。 事務局にて監査し、実行委員会会議にて確認している。
	補助金交付団体の自立性を促すことなどから、運営補助から事業補助へ移行を図っているか。	評価 事業補助	「運営補助」の場合、事業補助に移行できない理由と今後の見通しを記入。 ※混合補助で実施している場合は、割合が大きい方を選択してください。
	市職員が補助金交付団体の事務を行っていないか。（行っている場合は合理的な理由があるか。）	評価 行っていない	「行っている」の場合、合理的な理由を記入。
繰越金	交付団体の補助事業会計において、補助金額以上の繰越し金を計上している。 <small>(※複数団体ある場合は、各団体を一覧化したものを見出し別紙にて提出のこと)</small>	評価 いいえ	具体的な根拠指標 直近決算額における補助金額 _____ 円 繰越し金額 _____ 円 〔 うち補助事業会計分 _____ 円 うち団体独自会計分 _____ 円 〕
			繰越し金額が生じた具体的な原因について記入。
	上記設問において、「はい」の場合、補助金の減額ないし、休止などの必要な対策を考えている。	評価	「はい」→具体的な対応策について記入。 「いいえ」→対応できない理由について記入。

(3) 国県要綱・近隣市補助金との比較を通じた評価

近隣市では市民活動補助金の中で補助が可能となっていることから、事務局経費等の見直しを図りつつ継続していく。

(4) 補助金の課題

参加事業者からの歳入を増やす仕組みを検討する必要がある。

(5) 所属長の総合評価

子育て支援団体が集まるイベントであり、様々な地域の子育て情報の発信の場や交流の場として多くの来場者の実績があり、本イベントへの経済的支援は妥当であると考えていますが、必要経費等については見直しを図ってまいります。

(6) 補助金の今後の方向性

現行のまま継続

見直しをしたうえで継続

廃止

その他

その他的内容

現行
継続の
理由

見直しの時期

令和4年度

見直しの
内容

補助対象や基準額の見直しを検討す
る。

廃止の時期

廃止の理
由